

平成29年度

委員会 研究ならび事業報告

部・委員会名
理科委員会
(委員数 8名)

委員長	桐生 尊義	(富草小学校)
副委員長	小河 保宣	(松尾小学校)
会計	小河 保宣	(松尾小学校)
記録	吉沢 薫	(松尾小学校)

研究テーマ	科学的思考の高まりを実感できる理科学習 ～单元デザインによる科学的思考の高まり～
研究内容 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ○児童・生徒のもつ事象に対する素朴な見方・考え方を、科学的な見方・考え方へ高めていくための单元デザインのあり方 ○自己と集団の科学的な見方・考え方の高まりを実感する上での教師の関わりのあり方 ・追究意欲を生み出す事象との出会いと、児童・生徒の思考に沿った单元展開の工夫 ・イメージ図や作図等を用いた表現 ・自分の予想を確かめる場や友の考えに触れる場の確保 ・单元の本質に迫るための教材の工夫
成果と課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・追究エネルギーを生み出す事象との出会いや教材の導入、児童・生徒の思考に沿った单元をデザインしていくことが、児童・生徒の主体的な追究につながった。 ・自分の問いを明らかにするために予想を持つこと、予想を確かめる場があること、友の考えに触れる機会をつくり出すことが、個や集団の学びの質を高めた。その際、イメージ図や作図等を用いることが友と情報を共有することにつながった。 ・单元を貫く学習問題や課題を解決するための中心活動を据え、児童・生徒の思考に沿いながら追究を進めていくことで、児童・生徒の事象に対する見方・考え方に高まりに見られた。 ・单元の本質に迫るために、技術的なストレスをできるだけ排除した自作教材に有効性が見られた。 ・追究している児童・生徒に対して、教師が立ち歩きの中で様子を見守り、声かけをし、方向の指摘等を行うことを通して、児童・生徒の追究の方向を見定め、適切な支援を行うことにつながった。そして、児童・生徒の科学的な見方・考え方の高まりだけでなく、教師自身の指導観の変容につながった。
公開授業	<ul style="list-style-type: none"> ・○第1回 9月8日 泰阜小学校 4学年「单元名 かん電池と光電池のはたらき」～かん電池のつなぎ方にせまれ、モーターカーを速く走らせるなぞをさぐる～ 参観者11名(一般3名) ○第2回 12月1日 遠山中学校 1学年「单元名 光の世界」～光の反射 参観者16名(湯澤正農夫先生, 一般7名)
他 諸活動 研修会 講演会 冊子作成 など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月 3日 会場: 鼎中学校(委員会内授業検討)参加者7名(一般0名) ・ 8月 3日 会場: 飯田市美術博物館(基礎実技講習会) 参加者15名(一般7名) ・ 9月 1日 会場: 教育会館(科学作品県展審査)参加者8名(一般0名) ・ 9月22日 会場: 教育会館(県展作品搬出準備)参加者1名(一般0名) ・ 12月15日 会場: 長野県飯田OIDE長姫高等学校(小中高連絡会) 参加者12名(一般6名)